

第3次島田市健康増進計画 施策評価シート

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R5 目標値	R1 事業実績 (回数、人数等)	R2 事業実績 (回数、人数等)	R3 事業実績 (回数、人数等)	R4 事業実績 (回数、人数等)	R5 事業実績 (回数、人数等)	計画期間 の自己評 価	課題と今後の方向性	項目番号	
2 生活習慣の改善	2-(1) 栄養・食生活	小学生・中学生への適切な栄養摂取についての啓発	学校教育課	適切な栄養摂取の啓発	授業の充実・栄養教諭を派遣した食育授業	320時間	308時間	209時間 (新型コロナウイルスによる休校のため減)	241時間	277時間	278時間	◎	継続	25	
		生活習慣病予防や改善のための指導・助言の実施	健康づくり課	栄養改善等相談事業 訪問栄養指導事業 母子栄養改善事業	栄養・食生活習慣の改善を指導助言し、生活習慣病予防につなげる	食生活相談72回164人 健康の日健康相談6回 87人訪問栄養指導12回 14人 妊産婦栄養相談36人	食生活相談72回 健康の日健康相談6回 訪問栄養指導15回	食生活相談81回 健康の日健康相談3回 訪問栄養指導6回	食生活相談84回 歯の健康チェック&健康相談3回 訪問栄養指導3回	食生活相談90回 歯の健康チェック&健康相談3回 訪問栄養指導3回	食生活相談91回 歯の健康チェック&健康相談3回 訪問栄養指導2回	○		26	
		「具だくさん島田汁」の啓発	健康づくり課	食育講座事業 食育普及啓発事業	「具だくさん島田汁」を媒体として食育普及啓発を図る	金谷高校食育講座2回 64人 島田高校1回 21人 フレッシュジュババマ教室4回 126人大津児童クラブ食育教室3回65人 健康づくりセミナー1回 20人 高齢者食育料理教室1回17人 親子料理教室1回25人	高校食育講座4回 フレッシュジュババマ教室2期 47人(2期は中止) 児童クラブ食育教室2回 高齢者食育料理教室1回 親子料理教室1回 【新規】女性のための健康相談事業6回	高校食育講座3回 フレッシュジュババマ教室3期 61人 児童クラブ食育教室2回 高齢者食育料理教室1回 親子料理教室1回 女性のための健康相談事業6回	高校食育講座2回 83人 フレッシュジュババマ教室2期 46人 児童クラブ食育教室5回 180人 高齢者食育料理教室中止 親子料理教室2回	高校食育講座2回 182人 フレッシュジュババマ教室4期 109人 児童クラブ食育教室2回 85人 高齢者食育料理教室中止 親子料理教室2回	高校食育講座2回 207人 フレッシュジュババマ教室5期 109人 児童クラブ食育教室2回 85人 高齢者食育料理教室15回227人 親子料理教室7回382人	◎	第4次食育推進計画の取り組み等とリンクさせ実施していく	27	
		様々な媒体を活用した食の重要性の啓発	健康づくり課	健康教育事業 栄養・食育普及啓発事業	栄養・食育をはじめた生活習慣の改善を指導助言し、生活習慣病予防につなげる	FMLまだ12回 広報しまだ献立掲載12回 健康教育95回1806人 「食育の日」 「食育月間」普及啓発事業(食育ブックカバー制作)2回1200枚制作	FMLまだ12回 広報しまだ献立掲載12回 健康教育95回1806人 「食育の日」 「食育月間」普及啓発事業(食育ブックカバー制作)2回1200枚制作	FMLまだ12回 広報しまだ献立掲載12回 健康教育51回779人 「食育の日」 「食育月間」普及啓発1回73人	FMLまだ12回 広報しまだ献立掲載12回 健康教育51回688人 「食育の日」 「食育月間」普及啓発1回87人	FMLまだ12回 広報しまだ献立掲載12回 健康教育51回688人 「食育の日」 「食育月間」普及啓発1回87人	健康教育 99回1368人 FMLまだ1回 広報しまだ献立掲載12回 「食育の日」 「食育月間」普及啓発1回128人	○	第4次食育推進計画の取り組み等とリンクさせ実施していく	28	
		関係機関との連携	健康づくり課	島田市食育推進委員会 小中学校食育推進委員会	食育推進計画に基づき食に関係する組織団体が連携し、食育を推進する	島田市食育推進委員会2回 小中学校食育推進委員会2回	島田市食育推進委員会2回 小中学校食育推進委員会2回	島田市食育推進委員会2回	島田市食育推進委員会2回 (内書面会議1回)	島田市食育推進委員会2回	島田市健康増進計画等策定検討委員会へ移行のため実績無		令和6年度から例年どおり実施していく。	29	
		保育支援課	園便り・給食だより	公立保育園2園×12回	公立保育園2園×12回	公立保育園2園×12回	公立保育園2園×12回	公立保育園2園×12回	公立保育園2園×12回	公立保育園2園×12回	公立保育園2園×12回	公立保育園2園×12回	◎	保護者に分かりやすく、興味をもってもらえるような便りの作成	30
		学校教育課	保幼こ小合同研修会	児童の食生活等について、情報を引き継ぐ等の連携を図る	年2回 開催	年2回 開催	年1回 開催 (新型コロナウイルスにより1回減)	年1回 開催 (新型コロナウイルスにより1回減)	年1回 開催 (新型コロナウイルスにより1回減)	年1回 開催 (新型コロナウイルスにより1回減)	年2回 開催	年2回 開催	☆	継続	31
		健康づくり課	栄養バランスのとれた日本型食生活の良さを啓発し、推進する。	食育講座、健康教育事業	栄養・食育講座、健康教育等で栄養バランスのとれた日本型食生活を啓発する	食育講座75回639人 健康教育95回1806人	食育講座60回 健康教育50回	食育講座32回 480人 健康教育61回 779人	食育講座11回 376人 健康教育45回 1146人	食育講座37回736人 健康教育82回1122人	健康教育 99回1368人 食育こうご 101回1362人			32	
		訪問型介護予防指導事業の実施	訪問による個別指導が必要な高齢者を対象に、管理栄養士が自宅を訪問し、栄養に関する問題を把握し、必要な相談・指導を行うなど、栄養状態の改善を図る。	包括ケア推進課	訪問型介護予防指導事業	管理栄養士・歯科衛生士・理学療法士等が自宅に訪問し、栄養の改善や口腔機能、運動機能の向上について、相談・指導し要介護状態になることを予防する。	実施回数:180回 実利用者数:60人	実施回数:152回 実利用者数:55人	実施回数:141回 実利用者数:53人	実施回数:170回 実利用者数:63人	実施回数:132回 実利用者数:46人	実施回数:123回 実利用者数:35人	○	運動機能改善に比べて、口腔・栄養改善についての利用者が少ない。運動機能に比べて機能が低下がすぐに生活の課題として現れないことからケアプランに反映しにくい現状である。ケアプランチェックや自立支援型地域ケア会議等で事業の利用について助言していく。	33
		食育講座・料理教室の開催	食事バランスガイドを活用した健康教室を開催する。	健康づくり課	各種食育講座	食事バランスガイドを活用し、生活習慣病予防の食生活を啓発する。	食育講座75回639人 健康教育95回1806人	食育講座60回 健康教育50回	食育講座32回 480人 健康教育51回 779人	食育講座11回 376人 健康教育45回 1146人	食育講座37回736人 健康教育82回1122人	健康教育 99回1368人			34
	健康経営に取り組む企業への支援と連携	栄養や食生活に関する情報を発信するなど、事業所の健康課題対策や健康づくりに協力していく。	健康づくり課	健康マイレージ推進事業	事業所における健康課題対策や健康づくりへの協力の一環として、会社ぐるみで健康マイレージ事業に参加してもらい、従業員達の健康への関心を高めていく。事業所には、市のイベントへの積極的参加や抽選特典賞品の提供等について協力を依頼する。	連携事業所数:5	連携事業所数:1	連携事業所数:3	連携事業所数:3	連携事業所数:12	※連携事業所のカウントについて再確認。子育て支援センターはやめた。 連携事業所:2 ①テラーライフ株式会社で生活習慣病予防・健康マイレージの講話と計測をした。②明治安田生命保険相互会社にアンバサダー養成講座をすすめ、社員に受講してもらった。	○	連携事業所のカウントの仕方は検討。子育て支援センターはカウントしない(R5) 企業のアプローチを検討していく。	35	

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R5 目標値	R1 事業実績 (回数、人数等)	R2 事業実績 (回数、人数等)	R3 事業実績 (回数、人数等)	R4 事業実績 (回数、人数等)	R5 事業実績 (回数、人数等)	計画期間 の自己評価	課題と今後の方向性	項目番号	
2-(2) 運動・ 身体活動	各種スポーツ 教室の開催	気軽に運動に取り組むことができるよう、運動の機会を提供していくとともに、保健委員やスポーツ推進委員などの	健康づくり課	生活習慣病等対策事業	運動室開放A・B	運動室開放A・B 原則週2日	運動室開放 年99回	開催回数 144回 実利用者数 85人	運動室開放 年94回	運動室開放 年100回	運動室開放 年100回	◎	引き続き運動室の開放を継続し、周知していく。	36	
			スポーツ振興課	①ジュニアスポーツクラブ事業 ②ニュースポーツ普及活動事業	①小学生対象スポーツ教室の実施(バレー、バスケ、陸上・テニス・水泳) ②ニュースポーツ教室の開催	①開催数100回(5種目×20回)、 参加者200人(5種目×40人) ②延参加者 1,350人	①99回、参加者138人 ②延参加者 1,034人	①50回、参加者126人 ②延参加者 368人	①86回、参加者155人 ②延参加者 508人	①100回、参加者134人 ②延参加者 890人	①100回、参加者117人 ②延参加者 870人	○	各種スポーツ教室は、新型コロナウイルスの影響により中止や規模縮小となっていたが、参加者数も回復傾向にある。引き続きスポーツ教室等を開催し、参加者数の回復を図る。	37	
	市民健康ウォークの開催と仲間づくり	地域や職域と連携して、歩数や身体活動量の増加に向けた啓発や講座を行う。	健康づくり課	健康づくり啓発事業	R2年度までは、島田5000歩会、R3年度からはシンコースポーツに委託し健康づくり事業を	健康づくり課主催のウォーキングを年1回実施	7回実施、内1回は健康づくり課との共催で実施。	新型コロナウイルス感染拡大により3回のみ実施。内1回は健康づくり課との共催で実施。	6回実施。	5回実施。	6回実施	◎	ウォーキングや身体活動量増加のきっかけとなるような事業を続ける。	38	
	活動団体の支援	体育協会やスポーツ少年団をはじめとするスポーツ団体の活動を支援する。	スポーツ振興課	(補助金のみの交付のため)	島田市スポーツ協会の支援	(直接事業を行っていないため)	体育協会29団体 スポーツ少年団33団体	体育協会29団体 スポーツ少年団33団体	島田市スポーツ協会27団体 スポーツ少年団32団体	島田市スポーツ協会27団体 スポーツ少年団32団体	島田市スポーツ協会27団体 スポーツ少年団31団体	(補助のみの交付のため評価なし)	補助金交付により組織強化及び独立に向けた支援を行っている。	39	
	運動施設の整備	気軽に安心してスポーツ活動に取り組めるよう、施設の管理や整備を行う。	スポーツ振興課	①横井運動場公園改修事業 ②田代の郷多目的スポーツ・レクリエーション広場整備事業	①老朽化した施設の改修工事を行い施設利用者を増やす。 ②幅広い年代の人達が利用できる施設を整備し施設利用者を増やす。	①63,000人/年 ②203,000人/年	①49,581人 ②0人	①41,295人 ②160,000人(推計)	①44,121人 ②110,000人(推計)	①63,896人 ②130,000人(推計)	①78,433人 ②130,000人(推計)	○	各施設に劣化や破損が見られ、年々不具合は増加している傾向にある。利用者が安全に利用できるよう施設整備を進める。	40	
	運動教室や運動グループなどの情報の周知	運動の継続を図るため、既存の運動教室などの情報を集約し、周知を図る。	健康づくり課	生活習慣病等対策事業	運動室開放A・B	運動室開放A・B 原則週2日	運動室開放 年99回	運動室開放 年99回	運動室開放 年99回	運動室開放 年94回	運動室開放 年100回	運動室開放 年100回	◎	引き続き運動室の開放を継続し、周知していく。	41
			スポーツ振興課	ニュースポーツ普及活動事業	ニュースポーツ教室情報を広報誌等で発信	広報はまだ・ライン公式アカウントに教室情報を月1回発信	広報はまだ・ライン公式アカウントに教室情報を月1回発信	広報はまだ・ライン公式アカウントに教室情報を月1回発信 成 4回	広報はまだ掲載月1回 島田市公式ライン配信月1回 ホームページへのチラシ掲載年1回 公民館等へのチラシ配布年1回 啓発用ポケットティッシュ配布300個	広報はまだ掲載月1回 島田市公式ライン配信月1回 ホームページへのチラシ掲載年1回 ホームページへ各教室の詳細を掲載 随時 公民館等へのチラシ配布年1回	広報はまだ掲載月1回 島田市公式ライン配信月1回 ホームページへのチラシ掲載年1回 ホームページへ各教室の詳細を掲載 随時 公民館等へのチラシ配布年1回	広報はまだ掲載月1回 島田市公式ライン配信月1回 ホームページへのチラシ掲載年1回 ホームページへ各教室の詳細を掲載 随時 公民館等へのチラシ配布年1回	◎	スポーツ教室の情報について様々な手法を活用して発信している。申込にも成果が表れているため、今後も継続して実施していきたい。	42
	しまトレ推進事業の実施	身近な公会堂等で住民が主体となって介護予防に効果的な体操「しまトレ」を実施する場所を増やし、高齢者が身近な場所で介護予防に取り組むことができるよう支援する。	包括ケア推進課	しまトレ推進事業	介護予防体操「しまトレ」を地域住民が主体となって身近な公会堂等で実施できるよう支援し、地域の住民が主体的に行う介護予防の場づくりを推進する。	実施箇所数 132箇所 支援回数 144回	実施箇所数 82箇所 支援回数 112回	実施箇所数 86箇所 支援回数 72回	実施箇所数 91箇所 支援回数 80回	実施箇所数 97箇所 支援回数 84回	実施箇所数 102箇所 支援回数 83回	○	参加者やスタッフの高齢化に伴い、団体の維持・存続が課題となっている。新規参加者を増やすための広報や、参加者のモチベーション維持・向上するための支援を実施していく。地域包括支援センターと連携を図り、新規開設の希望がある地域に、働きかけを行っている。	43	
	パワーリハビリ教室の開催	機器を用いた低負荷のトレーニングにより、運動機能の向上を図る。身近な場所で介護予防ができるよう開催場所を増やし、教室を拡充させていく。	包括ケア推進課	パワーリハビリ教室事業	要介護認定を受けていない高齢者を対象に、低負荷のマシンを用いた運動機会を提供することにより介護予防を図る。	箇所数:3箇所 実施回数:588回 参加者数:624人	箇所数:3箇所 実施回数:537回 参加者数:554人	箇所数:3箇所 実施回数:196回 参加者数:74人	箇所数:3箇所 実施回数:319回 参加者数:163人	箇所数:3箇所 実施回数:560回 参加者数:233人	箇所数:3箇所 実施回数:472回 参加者数:276人	○	令和5年度後期から、おおるり会場をより広い保健福祉センターへ移転した。令和6年度後期から、金谷教室をかなえろへ移転し、さらに環境改善を図る。令和5年度はサブセンターの減少に伴い、2コースを休止したが、令和6年度は2コースを再開し、保健福祉センター、六合会場の定員を増員する。人数の目標については、効果的な教室運営のために、令和4年度に3期制から2期制へ変更したため、数値的には届いていない状態であるが、令和5年度は定員を超過する受講申し込みがあった。	44	
	通所型サービスC(短期集中予防サービス)の実施	心身の状況や生活環境を踏まえて、理学療法士、運動指導者等が概ね4か月の短期集中プログラムを提供することにより、運動機能の向上を図る。	包括ケア推進課	短期運動指導教室(旧げんき教室事業)(現:通所型短期集中予防サービス事業)	要介護状態となるおそれの高い虚弱な65歳以上の高齢者に対し、心身の状況や環境状況をふまえて、運動機能の向上プログラムを実施し、要介護状態となることを予防する。	開催回数 147回 実利用者数 165人	開催回数 142回 実利用者数 72人	開催回数 144回 実利用者数 85人	開催回数 147回 実利用者数 61人	開催回数 145回 実利用者数 74人	開催回数 147回 実利用者数 70人	△	利用期間の見直しなどで実利用者数の最大値が96人となり、利用率が向上している。包括支援センターとの連携を図るなどして、教室への参加を促していく。	45	
	健康経営に取り組む企業への支援と連携	身体活動量の増加に向けた情報を発信するなど、事業所の健康課題対策や健康づくりに協力していく。	健康づくり課	健幸マイレージ推進事業	事業所における健康課題対策や健康づくりへの協力の一環として、会社ぐるみで健幸マイレージ事業に参加してもらい、従業員連の健康への関心を高めたい。事業所には、市のイベントへの積極的参加や抽選特典賞品の提供等について協力を依頼する。	連携事業所数:5	連携事業所数:1	連携事業所数:1	連携事業所数:1	連携事業所数:12	◎	※連携事業所のカウントについて再確認。子育て支援センターはやめた。連携事業所:2 ①企業で生活習慣病予防、健幸マイレージの講話と計測をした。②明治安田生命保険相互会社にアンバサダー養成講座をすすめ、社員に受講してもらった。	46		

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R5 目標値	R1 事業実績 (回数、人数等)	R2 事業実績 (回数、人数等)	R3 事業実績 (回数、人数等)	R4 事業実績 (回数、人数等)	R5 事業実績 (回数、人数等)	計画期間 の自己評価	課題と今後の方向性	項目番号	
2-(3) 休養	睡眠についての正しい知識の普及	「健康づくりのための睡眠指針2014～睡眠12箇条～」に基づいた睡眠の正しい知識の啓発を図る。	健康づくり課	知識の啓発	睡眠の正しい知識の啓発を図る。	実施	未実施	未実施	未実施	未実施	このころの講演会実施。ユークロニア株式会社 代表 菅原洋平氏講演 「日本のこのころの健康を充実させる 睡眠の法則」参加者 191人	このころの講演会実施。「ネット犯罪にあわないために」島田警察署職員。参加者24名	○	講演会の周知方法について要検討。	47
	ストレス対策についての知識の普及	自分自身のストレス対策につなげるため、ストレス解消法などをテーマにした講演会を開催し、メンタルヘルスの保持・増進を図る。	健康づくり課	講演会の開催	講演会の開催	実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施			48	
	子育て支援事業の実施	様々な子育て支援サービスにより、子育て世代が悩みや不安を相談できる窓口を設置し周知を図る。	健康づくり課	子育て世代包括支援センター	子育て世代包括支援センターを啓発し、望まない妊娠、妊娠前から出産・子育て期の様々な相談に対応する。	ホームページ掲載やてくてく通信を発行し周知を実施	ホームページ掲載やてくてく通信を発行し周知を実施	ホームページ掲載やてくてく通信を発行し周知を実施	ホームページ掲載やてくてく通信を発行し周知を実施	ホームページ掲載などで周知を実施	ホームページ掲載などで周知を実施	ホームページ掲載などで周知を実施	☆	島田市版ネウボラを開始し担当保健師が相談窓口としての周知は図れている。しまいく+でのオンライン相談窓口の体制も整備され、相談しやすい環境は整えられてきた。引き続き、窓口の周知を行っていく。	49
	各種相談事業の実施	適宜適切な相談窓口で相談できるように、各専門分野を生かした電話相談、来所相談を実施する。	①健康相談 ②ゲートキーパー専門研修	健康づくり課	子育てコンシェルジュ	子育てで悩むお母さんからの相談を受け、そのニーズに合った子育て支援サービスについての情報提供及び児童に係る悩みや発達の問題等を受ける。	相談窓口拠点 1か所	相談窓口拠点 1か所	相談窓口拠点 1か所	相談窓口拠点 1か所	相談窓口拠点 1か所	相談窓口拠点 1か所	☆	拠点場所以外での相談対応も引き続き実施していく	50
						全ての児童に係る相談窓口として、保護者からの相談を受け、そのニーズに合った子育て支援サービスについての情報提供及び児童に係る悩みや発達の問題等を受ける。	①健康の日健康相談・健康相談(電話・来所)の実施 ②このころの健康問題に対する相談を受けられるよう、職員がゲートキーパー専門研修を受講する	①随時 ②年間 2人	①1866人 ②研修参加:2回 参加延べ人数:3人	①1617人 ②研修参加:1回 参加延べ人数:2人	①2508人 ②研修参加:1回 参加延べ人数:2人	①2617人 ②研修参加:1回 参加延べ人数:2人	①1,304人 ②研修参加	◎	新型コロナウイルス感染症が感染法第5類に降したことから、健康相談の件数は減少している。引き続き、市民が相談しやすい窓口として周知していく。
	生活安心課	市民相談事業	市民相談室で各種相談事業を行う	一般相談:750件 消費生活相談:550件	一般相談:786件 消費生活相談:506件	一般相談:718件 消費生活相談:493件	一般相談:660件 消費生活相談:474件	一般相談:778件 消費生活相談:505件	一般相談:859件 消費生活相談:500件	○	一般相談件数の増については、相続登記の義務化の影響で相続・贈与に関する相談が多く、関心が高まっていると考えられる。今後も法律改正等の動向に注目し、適切に対応を行えるよう相談員の知識取得に努める。	52			
	福祉課	障害者相談支援事業	障害者に対し電話及び来所等により健康に関する相談も受ける。	5,000件	4,397件	5,059件	5,458件	5,852件	6,936件	☆	相談件数が年々増加する中で、相談支援の中核的な役割を担う機関として、R3年度から基幹相談支援センターを設置しており、計画相談や委託相談との棲み分けが必要となる。	53			
	子育て応援課	家庭児童相談室	児童虐待・DV・子育てなど子どもに関するあらゆる相談に応じ、個々の子どもや家庭に適切な処遇などの検討を行い、子どもの福祉の増進を図る。	相談件数500件	相談件数676件	相談件数502件	相談件数470件	相談件数427件	相談件数516件	☆	相談が整理され、より困難ケースが相談に繋がった。こども家庭センターの開設により関係機関と早期連携を図って対応していく。	54			
	子育て応援課	発達相談担当	発達の気になる子どもがその子らしく健やかに育つことができ、保護者が安心して子育てができるよう、子どもの発達を促し保護者の相談に応じた必要な情報や支援を提供できるよう継続的に支援していく。	相談件数400件	相談件数437件	相談件数400件 (電話・来所相談件数) 検査時の聞き取り相談は含まない。	相談件数404件 (電話・来所相談件数) 検査時の聞き取り相談は含まない。	相談件数817件 (電話・来所相談件数) 検査時の聞き取り相談は含まない。	相談件数669件 (電話・来所相談件数) 検査時の聞き取り相談は含まない。	☆	保護者が、お子さんの発達を心配して、相談してくるケースは年々増えている。引き続き電話や来所相談等で保護者のお子さんに関する発達の心配等に寄り添っていく。	55			
	学校教育課	教育相談事業	教育相談	515件	587件	581件	532件	510件	701件	☆	継続	56			
	相談窓口の周知	関係機関の相談窓口の情報を集約して一覧にし、周知を図る。	健康づくり課	相談窓口啓発事業	自殺対策の相談窓口の啓発リーフレットを配布する	未定	リーフレットの原案作成 配布場所・配布方法の検討	公共施設や医療機関・職業安定所・庁内等に相談窓口一覧表を470部配布した。	市内企業や民生児童委員・公民館等へ相談窓口一覧表を572部配布した。	市内企業、職業安定所、公民館などへ相談窓口一覧表を配布した。	市内企業、職業安定所、公民館などへ相談窓口一覧表を配布した。	○	継続	57	
	関係機関等との連携	地域や職域、関係機関、団体などとの情報交換を行うとともに、連携を図り、効果的にこのころの健康に関する推進活動を行う。	健康づくり課	このころの健康部会	地域自殺対策計画をもとに自殺対策事業の検討を行う。	毎年1回実施	実施回数:1回	部会員:学識経験者や関係機関の代表者 実施回数:1回 (新型コロナウイルス対策の為、書面開催)	部会員:学識経験者や関係機関の代表者 実施回数:2回	部会員:学識経験者や関係機関の代表者 実施回数:2回	☆	継続	58		
	ストレスチェックの啓発	自分自身のストレスの状況に早期に気が付くため、ストレスチェックを実施する。	健康づくり課	ストレスチェックの実施	ストレスチェックの実施	実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	×	実施予定なし	59
	健康経営に取り組み企業への支援と連携	休養や睡眠の正しい知識や相談窓口の情報発信するなど、事業所の健康課題対策や健康づくりに協力していく。	健康づくり課	相談窓口啓発事業	相談窓口の啓発リーフレットを配布する	未定	未実施	ケンコックウォークやこのころの健康講演会等で啓発リーフレットを4会場合計150部配布した。	9月自殺予防週間に地区回り検診会場での街頭キャンペーン実施やゲートキーパー養成講座等で448部配布した。	9月自殺予防週間に地区回り検診会場や保健センターでの街頭キャンペーン実施 また、相談機関一覧を各施設に配架した。	市内企業、職業安定所、公民館などへ相談窓口一覧表を配布した。また、2企業に健康教育を行った。	○	継続	60	

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R5 目標値	R1 事業実績 (回数、人数等)	R2 事業実績 (回数、人数等)	R3 事業実績 (回数、人数等)	R4 事業実績 (回数、人数等)	R5 事業実績 (回数、人数等)	計画期間 の自己評価	課題と今後の方向性	項目番号	
2-(4) 歯・口腔の健康	幼児・児童・生徒を対象としたむし歯予防の推進	正しい歯みがきを習慣化するよう、ブラッシング指導を実施し、フッ化物塗布やフッ化物による洗口を実施する。	健康づくり課	フッ化物応用等歯科保健普及事業	市内の幼児及び小学生に対しフッ化物塗布・洗口及びブラッシング指導を行う。	フッ化物塗布 67回 5,000人 フッ化物洗口 5,900回 9,000人 ブラッシング指導 40回 2,000人	フッ化物塗布 80回 (半日:1回)、4,958人 フッ化物洗口 2,285回 1,124人 ブラッシング指導 42回 2,286人	フッ化物塗布 78回 (半日:1回)、4,835人 フッ化物洗口 1,567回 8,116人 ブラッシング指導 26回 1,187人	フッ化物塗布 78回 (半日:1回)、3,505人 フッ化物洗口 1,650回 8,994人 ブラッシング指導 37回 1,694人	フッ化物塗布 86回 (半日:1回)、3,611人 フッ化物洗口 1,618回 7,177人 ブラッシング指導 42回 1,995人	フッ化物塗布 86回 (半日:1回)、3,429人 フッ化物洗口 1,737回 8,177人 ブラッシング指導 46回 2,149人	◎	子どもの減少等により、フッ化物塗布・洗口実施者数は減少傾向である。集団でのむし歯予防効果の高いフッ化物応用事業を推進するとともに、ブラッシング指導では、う蝕予防に加え、歯周病予防や口腔機能の維持向上も啓発していく。	61	
			保育支援課	・健康づくり課の歯科衛生士によるブラッシング指導 ・フッ素洗口	・保育園児対象に年にブラッシング指導を実施。 ・保育園児対象にフッ素洗口を実施	ブラッシング指導 4・5歳児 全員の実施 フッ素説明会 4歳児保護者が全員参加し洗口について理解する	第一保育園 フッ素洗口 4歳児26人 延べ36回 5歳児22人 延べ48回 ブラッシング指導 4・5歳児 計48人 フッ素説明会 4歳児保護者26名	第一保育園 フッ素洗口 4歳児 26人 44回 5歳児 28人 49回 ブラッシング指導 4・5歳児 計52人	第一保育園 フッ素洗口 4歳児 26人 30回 5歳児 28人 36回 ブラッシング指導 (12月) 4・5歳児 計52人	第一保育園 フッ素洗口 4歳児26人 延べ38回 5歳児25人 延べ47回 ブラッシング指導 4・5歳児 計51人	第一保育園 フッ素洗口 4歳児19人 延べ29回 5歳児19人 延べ44回 ブラッシング指導 4・5歳児 計40人	第一保育園 フッ素洗口 4歳児19人 延べ39回 5歳児20人 延べ47回 ブラッシング指導 4・5歳児 計39人	◎	フッ素が苦手な子はクブクラがいを行い、その子のタイミングを見ながら促していく。	62
			学校教育課	フッ化物による洗口	フッ化物による洗口 (北部小中学校・川根小中学)	週1回の実施	週1回の実施	川根地区 新型コロナ対応のため、8月から週1回の実施	川根地区 隔週で実施	川根地区 隔週で実施	川根地区 隔週で実施	△	継続	63	
児童の歯科相談事業の実施	フッ化物塗布の会場で、児童のフッ化物塗布だけでなく、歯科相談コーナーを設け、歯科相談、歯科教育を実施する。	健康づくり課	フッ化物応用等歯科保健普及事業	小学生にフッ化物塗布及び歯科相談や歯磨きの指導を行う。	小学生フッ化物塗布 20回 延べ5,000人	(再掲)小学生フッ化物塗布 19回 (半日:1回) 延べ2,729人	(再掲)小学生フッ化物塗布 17回 (半日:1回) 延べ2,304人	(再掲)小学生フッ化物塗布 8回 (半日:1回) 延べ1,214人	(再掲)小学生フッ化物塗布 12回 (半日:1回) 延べ1,496人	(再掲)小学生フッ化物塗布 12回 (半日:1回) 延べ1,408人	◎	実施者は減少傾向にある。会場で歯科衛生士が直接保護者に児童の口腔の問題点を指摘・指導し、相談に対応できている。う蝕予防に加え、口腔機能の維持向上も啓発していく。	64		
歯科健 (検) 診などの実施	幼児から生徒の歯科健診、妊婦歯科健診、成人歯周疾患検診を実施する。また、定期的に歯科相談の機会を提供する。	健康づくり課	1歳6ヶ月児健診 3歳児健診 一般歯科健診 歯周疾患検診	(1歳6ヶ月児・3歳児健診)健診時に歯科相談(検診)を行う(一般歯科健診)を4回、保健センターで希望者に対し歯科相談と歯科相談を行う(歯周疾患検診)40、50、60、70歳の市民に対して、歯周疾患検診を実施する	1歳6ヶ月児健診 24回 647人 3歳児歯科健診 24回 674人 一般歯科健診 4回 96人 健康の日健康相談6回 歯周疾患検診受診者: 500人	1歳6ヶ月児健診 24回 587人 3歳児歯科健診 24回 732人 一般歯科健診3回 75人 健康の日健康相談3回 歯周疾患検診受診者: 444人	1歳6ヶ月児健診 24回 674人 3歳児歯科健診 24回 702人 一般歯科健診3回 74人 健康の日健康相談3回 歯周疾患検診受診者: 428人	1歳6ヶ月児健診 24回 587人 3歳児歯科健診 24回 617人 妊産婦歯科健診4回 健康チェック&健康相談(歯科含む)5回 歯周疾患検診受診者: 360人	1歳6ヶ月児健診 24回 603人 3歳児歯科健診 24回 617人 妊産婦歯科健診4回 健康チェック&健康相談(歯科含む)5回 歯周疾患検診受診者: 492人	◎	減少傾向だった歯周疾患検診は、令和5年度は増加に転じ、受診率は過去最高値となった。デジタルツールを活用しつつ、効果的な受診勧奨を検討、実施していく。	65			
保育支援課	歯科検診・歯科衛生に関する研修	◎	第一保育園 歯科検診 全園児112人 年1回 第三保育園 歯科検診 全園児 100人 年1回	第一保育園 歯科検診 全園児112人 年1回 第三保育園 歯科検診 全園児 102人 年1回	第一保育園 歯科検診 全園児115人 年1回 第三保育園 歯科検診 全園児 100人 年1回	第一保育園 歯科検診 全園児115人 年1回 第三保育園 歯科検診(7月) 全園児 95人 年1回	第一保育園 歯科検診 107人 第三保育園 歯科検診 88人	第一保育園 歯科検診 93人 第三保育園 歯科検診 80人	◎	当日受診しない園児もいるが、後日受診するよう促し、全園児受診を行っている。	66				
	学校教育課	健康管理事業	歯科検診	年1回の実施	年1回の実施	年1回の実施	年1回の実施	年1回の実施	年1回の実施	年1回実施	☆	継続	67		
歯や口の健康の普及啓発	各地区の健康講座、広報しまだやホームページ、FM島田など様々な媒体で、歯や口の健康と望ましい生活習慣が健康の基盤であることを普及啓発する。	健康づくり課	健康教育事業	依頼先に出向き、ブラッシング指導や歯の講話を行う	歯科健康教育 20回 500人	歯科健康教育 26回622人	歯科健康教育 8回141人 小学生フッ化物洗口の際でチラシ等の配付	歯科健康教育 6回139人 小学生フッ化物洗口の際でチラシ等の配付	歯科健康教育 4回、成人のみ45人 8020推進員育成研修2回66人 小学生フッ化物塗布の際でチラシ等の配付	歯科健康教育 10回、253人 8020推進員育成研修1回66人 小学生フッ化物塗布の際でチラシ等の配付	◎	コロナ禍以降、各地区や高齢者団体等からの依頼が激減したが、様々な機会に普及啓発を行った。う蝕予防に加え、口腔機能の維持向上も啓発していく。	68		
障害者・高齢者を対象とした歯科保健事業の実施	就労支援事業所や高齢者の通所施設などでブラッシング指導など健康教育を行う。口腔機能向上プログラム(オールフレイル対策)の実践、口腔相談、在宅	健康づくり課	フッ化物応用等歯科保健普及事業	障がい者自立支援施設に出向き、ブラッシング指導を行う。	ブラッシング指導(障がい者) 20回 280人	ブラッシング指導(障がい者) 18回 306人	ブラッシング指導(障がい者) 13回 167人	ブラッシング指導(障がい者) 14回 222人	ブラッシング指導(障がい者) 15回 192人	ブラッシング指導(障がい者) 20回 313人	◎	う蝕予防に加え、口腔機能の維持向上も啓発していく。	69		
		健康づくり課	訪問歯科診療事業	寝たきり等で、かつ在宅での歯科治療が可能な在宅養老者に対し訪問歯科診療等を行う	訪問歯科診療申請者 131人 口腔相談等40人	訪問歯科診療127人 (延べ377人) 口腔相談等43人	訪問歯科診療123人 (延べ447人) 訪問口腔相談等15人	訪問歯科診療154人 (延べ590人) 訪問口腔相談等8人	訪問歯科診療139人 (延べ532人) 訪問口腔相談等18人	◎	高齢化に伴い、利用者は増加傾向である。引き続き歯科医師会と連携し実施していく。	70			
8020推進運動の推進	8020運動を推進するため、8020コンクールを開催し、優秀者を表彰する。また、講座等での普及啓発、8020推進員の育成・研修を行う。	健康づくり課	健康づくり啓発事業	管理栄養士・歯科衛生士・理学療法士等が在宅に訪問し、栄養の改善や口腔機能・運動機能の向上について、相談・指導し要介護状態になることを予防する。	実施回数:180回 実利用者数:60人	実施回数:152回 実利用者数:55人	実施回数:141回 実利用者数:53人	実施回数:170回 実利用者数:63人	実施回数:132回 実利用者数:46人	実施回数:123回 実利用者数:35人	◎	運動機能改善に比べて、口腔・栄養改善についての利用者が少ない。運動機能に比べて機能低下が早くに生活の課題として現れないことからアプレンに反映しにくい現状である。ケアプランチェックや自立支援型地域ケア会議等で事業の利用について助言していく。	71		
		健康づくり課	健康づくり啓発事業	8020コンクールを開催し、健康教育を行うとともに優秀者を表彰する。8020推進員の育成・研修を行う。	8020コンクールの開催 8020推進員だよりの送付2回×16人	8020コンクール 2会場 優秀者20名 8020推進員だよりの送付2回×16人	8020コンクール 認定者25名 8020推進員だよりの送付2回×13人	8020コンクール 認定証発行38名 8020推進員だよりの送付2回×10人	8020コンクール 認定証発行49名 8020推進員育成研修2回40人 8020推進員だよりの送付2回×10人	8020コンクール 認定証発行50名 8020推進員育成研修1回66人、うち推進員登録2人 8020推進員だよりの送付2回×12人	◎	う蝕予防の「80歳で自分の歯を20本」に、口腔機能の維持向上を目指すオールフレイル予防の概念を加えた。新しい8020の普及と啓発を推進していく	72		

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R5 目標値	R1 事業実績 (回数、人数等)	R2 事業実績 (回数、人数等)	R3 事業実績 (回数、人数等)	R4 事業実績 (回数、人数等)	R5 事業実績 (回数、人数等)	計画期間 の自己評価	課題と今後の方向性	項目番号
		歯と口の健康に関するイベントの開催	健康づくり課	健康づくり啓発事業	〈歯と口の市民フェスティバル〉8020授養式に合わせ、歯科医師会主催で歯の大切さをイベントを行う(歯科講演会)歯科についての講演会を行う	歯と口の市民フェスティバル 1回 来場者600人 歯科講演会 2年に1回 100人	歯と口の市民フェスティバル 年1回 来場者440人	歯と口の市民フェスティバル 中止 歯科講演会 2年に1回 会場40人(定員の1/2以下)R3.3.22～5月末までYouTube配信278回再生	歯と口の市民フェスティバル 中止 小中学生企画・ポスターコンクール開催 歯科講演会(隔年開催) 会場40人、WEB56人、R5.2.6～3月末までYouTube配信 550回再生 国のモデル事業への参加、簡易キット配布103人実施54人	歯と口の市民フェスティバル 中止 小中学生企画・ポスターコンクール開催 歯科講演会(隔年開催) 会場40人、WEB56人、R5.2.6～3月末までYouTube配信 550回再生 国のモデル事業への参加、簡易キット配布103人実施54人	小中学生企画・ポスターコンクール開催 国のモデル事業を活用し、簡易キットによるチェック実施31人	◎	コンクール等のイベントを通じ、デジタルツールも活用しながら歯科口腔保健への市民の関心を高める。う蝕予防に加え、幼児期から高齢期まで口腔機能の維持向上を図る。	73
		地域や職域と連携した歯科健(検)診の受診啓発	健康づくり課	歯周疾患検診 一般歯科健診	〈歯周疾患検診〉希望登録がない市民に歯周疾患検診受診票を送付。〈一般歯科健診〉年4回、保健センターで希望者に対し歯科検診と歯科相談を行う	歯周疾患検診受診票送付枚数:約5,400通(その年の対象者数による)一般歯科健診 4回 100人	歯周疾患検診受診票送付通数:5,352通 一般歯科健診 4回 96人	歯周疾患検診受診票送付通数:5,072通 一般歯科健診 3回 75人	歯周疾患検診受診票送付通数:4,863通 一般歯科健診 3回 74人	歯周疾患検診受診票送付通数:4,691通 妊産婦歯科健診 4回 82人(※R4は妊産婦対象)	歯周疾患検診受診票送付通数:4,887通 妊産婦歯科健診 4回 127人(※R4・5は妊産婦対象)	◎	集団での一般歯科健診を廃止する。若年からの歯周疾患予防のため対象年齢を拡大し、20歳・30歳を歯周疾患検診の対象とする。また、個別の妊産婦歯科健診を開始する。	74
		関係機関等との歯科保健の推進の協議	健康づくり課	メンテナンス会議 歯科保健部会	〈メンテナンス会議〉洗口を行なう幼稚園・保育園の担当者でフッ化物洗口についての意見交換を行う。 〈歯科保健部会〉関係機関に市内幼・保・小・中学校の歯科調査の結果と市内歯科保健の実施報告を行い、意見交換を行う。	メンテナンス会議 年1回 歯科保健部会 年1回	メンテナンス会議 年1回(1月) 歯科保健部会 年2回(8月・2月)	メンテナンス会議 年1回(2月) 歯科保健部会 年2回(10月・1月)	メンテナンス会議 年1回(3月) 歯科保健部会 年2回(10月・2月)	メンテナンス会議 年1回(1月) 歯科保健部会 年2回(8月・2月)	メンテナンス会議 年1回(1月) 歯科保健部会 年2回(8月・2月)	◎	デジタルツールを活用し、引き続き、歯科保健に係る様々な課題について関係機関と協議連携する場として開催する。	75
2-(5) たばこ、アルコール、薬物	様々な媒体、機会を活用した普及啓発	様々な媒体を活用し、禁煙や受動喫煙・多量飲酒防止について情報を発信する。	健康づくり課	健康教育	ポスター、パンフレット等媒体を利用し、市民に周知。	通年で活動を実施	通年で活動を実施	通年で活動を実施	通年で活動を実施	通年で活動を実施	通年で活動を実施	◎	ポスターやチラシ等の媒体を利用し普及活動を続ける。	76
		喫煙や飲酒、薬物が身体に及ぼす悪影響についての啓発	健康づくり課	母子手帳交付 乳幼児健康相談(7か月児相談)及び健診	喫煙や飲酒状況をアンケートで調査し、その都度個別で啓発を実施している。	母子手帳交付: 通年 乳幼児相談(7か月児相談): 年24回 乳幼児健診: 年48回	母子手帳交付: 通年 乳幼児相談: 年48回 乳幼児相談(7か月児相談): 年22回	母子手帳交付: 通年 乳幼児相談: 年48回 乳幼児相談(7か月児相談): 年21回	母子手帳交付: 通年	母子手帳交付: 通年	母子手帳交付: 通年 乳幼児健診: 年48回 乳幼児相談(7か月児相談): 年24回	◎	母子手帳交付時に、喫煙や飲酒習慣のある方は0ではない、必要な方には継続して、情報提供を行っている。	77
		世界禁煙デーでの街頭啓発活動	健康づくり課	生活習慣病等対策事業	世界禁煙デーに、街頭広報を実施し、禁煙の必要性について啓発した。	街頭広報の実施	世界禁煙デーにあわせ、アピタで街頭広報を実施した。	街頭啓発は実施なし ホームページ更新	企業を訪問し、禁煙やCOPDに関する講座を実施した。	企業を訪問し、禁煙やCOPDに関する講座を実施した。	企業を訪問し、禁煙やCOPDに関する講座を実施した。	◎	禁煙に悩む企業もあるため、継続して禁煙の必要性について情報提供を行う。	78
		禁煙指導や支援の実施	健康づくり課	生活習慣病等対策事業 健康増進事業	健康の日健康相談等で、喫煙者に対し禁煙についての指導や支援を行う。	健康相談の実施	健康相談 6回/年	健康相談 3回/年	健康相談 3回/年	健康相談 4回/年	健康相談 4回/年	◎	引き続き禁煙指導を継続していく。	79
		国保年金課	国民健康保険 保健事業(特定保健指導)		特定保健指導対象者等に対して、喫煙と生活習慣病との関連や禁煙について保健指導を行う	継続	77人	103人	117人	81人	81人	○	特定保健指導初回面接時に禁煙の指導を行っているが、実際に禁煙が成功する人が少ない。	80
		県の受動喫煙防止条例に準じた対応	健康づくり課	生活習慣病等対策事業	ホームページや広報で情報の周知を実施	ホームページや広報で情報の周知を実施	ホームページでの周知 広報で2回/年周知。	ホームページでの周知 広報で2回/年周知。	ホームページでの周知 広報で2回/年周知。	ホームページでの周知 広報で2回/年周知。	ホームページやLINEで周知	◎	引き続き情報提供していく	81
		医師会や薬剤師会など関係機関と連携した禁煙支援体制	健康づくり課	母子手帳交付 赤ちゃん訪問 健康増進事業	喫煙中で禁煙の希望がある方に対し情報提供および指導	母子手帳交付 赤ちゃん訪問 健康増進事業	母子手帳交付 赤ちゃん訪問 健康増進事業	母子手帳交付 赤ちゃん訪問 健康増進事業	母子手帳交付 赤ちゃん訪問	母子手帳交付 赤ちゃん訪問	母子手帳交付 赤ちゃん訪問	◎	母子手帳交付時に、喫煙習慣のある方は、0ではない、必要な方には継続して、情報提供を行っている。	82
		小・中学校における保健学	健康づくり課	知識の啓発	喫煙・アルコール・薬物	実施	なし	駿園学園でたばこ授業1回	なし	なし	なし	×	依頼に応じて学校に出向き啓発を行う	83
		学校教育課	薬学講座	薬学講座		年1回以上の実施	年1回以上の実施	年1回以上の実施	年回以上の実施	年1回以上の実施	年1回の実施	☆	継続	84